

# 岡山大学大学院環境生命科学研究科（博士前期課程）

Graduate School of Environmental and Life Science(Master's Course) OKAYAMA UNIVERSITY

## 2020年4月入学 第1回入学試験問題用紙

Entrance Examination for April 2020 (1st Application)

Examination Questions

岡山大学大学院環境生命科学研究科

Graduate School of Environmental and Life Science

(Master's Course) OKAYAMA UNIVERSITY

|                 |
|-----------------|
| 専門科目<br>Subject |
| 農業経営学           |

1. 以下の文章を読み、解答を下さい。

農業経営体の数は一貫して減少し、平成 29 (2017) 年においては前年に比べ 6 万 (4.6%) 減少の 125 万 8 千経営体となり、このうち販売農家は同 6 万 2 千 (4.9%) 減少の 120 万戸、法人経営体は 1 千 (4.8%) 増加の 2 万 2 千経営体となりました。

農業経営体数の減少は農産物の生産減少につながる懸念がある一方で、経営規模の拡大を志向する経営体にとっては農地等の経営資源を獲得する好機となります(a)。農林業センサスにより近年の 1 経営体当たりの経営規模の推移を見ると、田、畑、樹園地の経営耕地面積、牛、豚の飼養頭数のいずれも着実に拡大しています (図表 2-1-8)。

法人経営には、従業員を集めやすい、経営継続がしやすいなどの利点があることから、大規模農家や集落営農組織を中心に、農業経営を法人化する経営体が徐々に増えています(b)。法人経営体数については、2023 年までに 5 万法人とする目標が設定されており、農業委員会や都道府県農業委員会ネットワーク機構等により、法人経営の利点や制度上の優遇措置への理解の深化、税理士等による相談や法人化手続の支援の更なる周知が求められています。

引用：平成 29 年度食料・農業・農村白書より

- (1) 下線部(a)によると、農業経営体の減少は大規模化を目指す農業経営体にとって、経営規模拡大の機会を与えているとしている。しかし、農業経営は資本・土地・労働の3要素から構成されるため、「土地⇌農地」の確保だけでは大規模化は困難である。そこで、農業経営の大規模化に必要な条件について、労働と土地、そして以下のキーワードを踏まえて述べなさい。

キーワード：家族労働力、雇用労働力、農業機械、農業施設

- (2) 下線部(B)では、法人経営のメリットが述べられているが、実際は、国の政策目標である5万経営体の達成は簡単には到達するのは難しいと想定される。そこで、本文を踏まえ、法人経営体が増加するために必要な政策について、あなたの考えについて述べなさい。

2.以下の図表を読み取り、解答をしなさい。

引用：平成 29 年度食料・農業・農村白書

- (1)上の図表は、全国の荒廃農地面積の推移を示している。荒廃農地が発生する要因について述べた上で、荒廃農地を減らすために必要な政策についてあなたの意見を述べなさい。

引用：平成 29 年度食料・農業・農村白書

- (2)上の図表は、全国の担い手への農地集積状況について示している。我が国の農業構造政策として、特定の担い手への農地集積が進められてきた。しかし、担い手の経営耕地面積の規模拡大により様々な課題が発生している。そこで、規模拡大により生じる課題の具体例を挙げて、その解決に求められる担い手の対策や、担い手への支援政策について、あなたの考えを述べなさい。

